

## 紅花をアクセサリーに

米沢産使い、外国出身者が挑戦



紅花の花びらを活用したアクセサリー作りに取り組む参加者 米沢市

米沢市産の紅花を使ったアクセサリーを作るワークショップが12日、同市のJR米沢駅構内のワークショップスペースで開かれた。参加者が表情豊かなキーホルダーやネックレスに仕上げた。

同市のハンドメイド作家戸屋香吉さん(48)が講師を務め、県内在住の外国出身者3人が参加した。3人は、戸屋さんのアドバイスを受けながら、紅花の花びらや粉末を思い思いに透明な樹脂に混ぜ、固めては層

「キジフル」に  
A1編集動画



を積み重ねていった。山形市の旅行会社に勤めるリッツ・アレクサンダーさん(25)は米国出身。紅花文化は山形にしかない。ワークショップは海外からの旅行者にとって良い体験になると思う」と話した。

戸屋さんは米沢工業高専攻科の生徒と連携し、紅花のオリジナルアクセサリーを開発しており、その一環としてアクセサリーの販売をサポートする合同会社Crop(同市、高橋りな代表)と戸屋さんが主催した。今後、定期的にワークショップを展開し、紅花の魅力を発信する考えだ。

(大坪千絵)